

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

「那須地区ふれあい学習ネットワーク」特集

2月8日（金）に那須塩原市三島ホールにおいて「おせっかい、やってみっかい？ ～知ることが家庭を支える第一歩～」をテーマに「那須地区ふれあい学習ネットワーク兼地域教育コーディネーター養成研修」を開催しました。この研修会は、子供の教育を学校だけに委ねるのではなく、地域社会全体で子供たちを育むために、学校・家庭・地域が、積極的に連携・協働できるように、お互いが共通理解を図り、共通行動がとれるようにすることを目的としています。当日は、本地区の小・中・義務教育学校の教職員やPTA役員、地域活動実践者等を中心に、180名の参加をいただきました。

◆基調講演

講話：「子供の『冒険の旅』を支える」

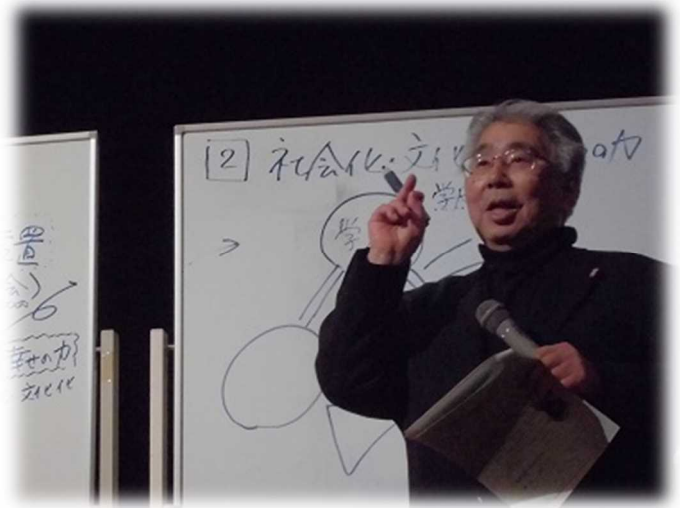
講師：茨城県生涯学習・社会教育研究会
会長 長谷川幸介 氏

那須地区ふれあい学習ネットワークで講師をお呼びするのは、平成25年度以来、5年ぶりとなります。ふれあい学習推進会議では、

「地域から孤立し、課題を抱える家庭に対し

て、地域社会はどうつながればいいのか？」を本年度の大きなテーマとして協議を重ね、講話を参考に考えていただく研修を企画しました。そこで、講師に生涯学習論や地域社会論、地域福祉など多くの分野に精通されている長谷川 幸介 氏をお招きしました。

講話では、子供を取りまく環境や土台となる家庭教育の重要性等、ポイントを押さえながらお話いただきました。参加者からは、「地域コミュニティ、社会教育の意義を再確認できた。大変分かりやすく、共感できる内容でした。」「学校と地域のつながりが大事なこと、皆で考えていきたいと思いました。」「もっともっと、たくさんの人に聴いてもらわなくてはいけない話だと思いました。」などの声をいただくことができました。



ふれあい学習推進委員作成資料

「昔はあった よきおせっかい」

ネットワーク当日の補助資料として、「昔はあった よきおせっかい」を配布しました。こちらの資料は、地域がつながっていた「よきおせっかい」について、ふれあい学習推進委員の経験を基に作成したものです。近所からのおすそ分けや声かけ、家族以外の人から叱られた経験等、「よきおせっかい」についてまとめました。講演後、意見交流の参考資料として活用していただきました。